

## 再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担 当 課：国道・防災課

担当課長名：鈴木 克宗

事業名：一般国道176号 広野バイパス	事業区分：一般国道	事業主体：兵庫県
起終点：自：兵庫県三田市広野 至：兵庫県三田市加茂		延長：1.26km
<b>事業概要</b> 一般国道176号は、京都府宮津市を起点とし大阪府大阪市に至る延長約177kmの幹線道路であり、兵庫県内においては丹波地域と阪神地域を結ぶ重要な路線である。広野バイパスは、2級河川武庫川の河川改修と合併して、幅員狭小、線形不良の解消を目的とした延長約1.3kmの2車線道路である。		
H 7年度事業化	都市計画決定なし	H 8年度用地着手
		H 8年度工事着手
全体事業費	39億円	事業進捗率
		64%
		供用済延長
		0.8km
計画交通量	13,000台/日	
費用対効果分析結果	B/C (事業全体)	1.5
	(残事業)	2.1
総費用 (残事業)/(事業全体)	14 / 42億円	
総便益 (残事業)/(事業全体)	29 / 64億円	
基準年	平成16年	
	（事業費：13 / 41億円）	（走行時間短縮便益：27 / 62億円）
	（維持管理費：1 / 1億円）	（走行費用減少便益：1 / 2億円）
		（交通事故減少便益：0.1 / 0.1億円）
感度分析の結果	交通量変動：B/C=1.6（交通量+10%）	B/C=1.3（交通量-10%）
	事業費変動：B/C=1.4（事業費+10%）	B/C=1.7（事業費-10%）
<b>事業の効果等</b> ・個性ある地域の形成（鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消） ・安全な生活環境の確保（歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される） 他2項目に該当		
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 一般国道176号広野バイパスは、幅員狭小、線形不良箇所の解消及び(二)武庫川河川改修と合併し地域の一体的発展に寄与することが期待されており、三田市から早期整備の要望を受けている。		
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b>		
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 広野工区に集中投資し、平成14年度に広野工区を完成させた。残りの加茂工区については平成16年度より用地買収を行う。		
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 加茂工区についても、事業に対する地元住民の合意が図られており、用地買収等が順調に進んでいるため、平成20年度完成に向けた工事の実施が可能である。		
<b>施設の構造や工法の変更等</b>		
対応方針	事業継続	
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。	
事業概要図		

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。